

## 東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金について（お願い）

(財)消防育英会  
(財)日本消防協会  
全国消防長会

平成23年3月11日の東日本大震災において、消防団員、消防職員は危険が迫るなか、水門閉鎖、避難誘導、救助、消火などで懸命の活動をつづけ多数の住民の生命を救いました。しかし、その過程で極めて多数の殉職者が生ずるという痛恨極まる事態となりました。同年11月29日、天皇皇后両陛下の行幸啓を頂いて実施した全国慰霊祭においては、東日本大震災に伴い新たに合祀された殉職者の数が226人という例年の10人前後と比べて未曾有の多数となりました。

消防殉職者の遺児に対しては、財団法人消防育英会から育英奨学金をさしあげていますが、これまでにない多数の殉職者が生じたことに伴い、大幅に財源が不足する状況となりました。残された遺児の健全な成長を願い、その就学を支援し、ご遺族を援助することは、大震災に立ち向って懸命な活動をつづけ、殉職された消防団員、消防職員に報いるものでもあると存じます。何かとご多端の折恐縮でございますが、消防育英会の東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金に対し、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。

### 振込先

銀行名 りそな銀行（銀行コード 0010）

支店名 東京公務部（支店コード 295）

口座番号 普通預金 0078446

口座名 財団法人消防育英会東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金

（ザイダンホウジンショウボウイクエイカイ ヒガシニホンダイシンサイショウボウ  
ジュンシヨクシャイジイクエイショウガクキキン）

口座名の略称 「東日本大震災消防育英基金」

（ヒガシニホンダイシンサイショウボウイクエイキキン）

問い合わせ先—(財)消防育英会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9-16

TEL: 03-3591-0543 FAX: 03-3503-1480 E-mail: ikueikai@nissho.or.jp

ホームページ: <http://www.nissho-jyohou.jp/ikueikai/index.html>

（参考）財団法人消防育英会は、特定公益増進法人であることの証明を受けており、同会に対する寄附は、税制上の特例として、法人寄付者については法人税につき損金算入、個人寄付者については所得税につき所得控除の適用があります。

## 東日本大震災による消防殉職者の遺児

平成24年2月6日現在

未就学者 32人

小学生 64人

中学生 33人

高校生 30人

大学生(専門学校生含む) 10人

合計 169人

( 就学中 137人 )

(参考)

これまでの災害による奨学生 平成23年12月22日現在

小学生 32人

中学生 23人

高校生 29人

大学生(専門学校生含む) 23人

合計 107人

#### ◇消防団員の殉職事例（消防庁資料より）

1. 職場から居住地の水門の確認に向かうと、近くに住む高齢者が水門を閉めていたため、その高齢者に避難を指示し、代わって水門を閉める作業を行っているとき、津波に巻き込まれ殉職した。（宮城県石巻市）
2. 水門閉鎖後、屯所に戻り避難誘導に向かう準備中に、ポンプ車の無線から津波が押し寄せているとの情報が入った。非常事態を住民に知らせるためサイレンを鳴らそうとしたが、停電で作動しなかった。とっさに倉庫から半鐘を持ち出し、屯所屋上でそれを鳴らし続け、津波に巻き込まれ殉職した。（岩手県大槌町）
3. 分団本部に参集後、別の屯所へ向かう途中で避難中の高齢者2名と遭遇し、1名を背中に背負い、1名を抱えながら避難していたところ、津波に巻き込まれ殉職した。（岩手県陸前高田市）
4. 日本語が不自由な中国研修生を含む多くの人々を的確な指示で避難場所まで誘導した後、さらに海岸付近にまだいる多くの人々に高台への避難を呼び掛けている最中に津波に巻き込まれ殉職した。（宮城県女川町）
5. 避難場所の公会堂で一人暮らしの移動困難な高齢者がいないのに気づき、他の団員1名とともに高齢者宅に救出に向かい、救出活動を行っていたところ津波に巻き込まれ高齢者とともに団員2名が殉職した。（福島県南相馬市）

#### ◇消防職員の殉職事例（全国消防長会資料より）

1. 津波が水門を超えたとの情報により庁舎外に出ると、津波が押し寄せつつあったため、行き交う車両と住民を職員5名で東西の高台に避難させていたところ、瓦礫とともに津波が押し寄せ殉職した。（宮城県南三陸町）
2. 消防署内で現場指揮要員として活動中、第1波の津波の来襲により、屋上の無線アンテナ上に避難したが、第2波の津波により流されてきた船がアンテナに衝突し、屋内に残っていた1名を含む3名が殉職した。（宮城県女川町）